

<b>施策14</b>	<b>スポーツを楽しめる環境の充実</b>	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)
		関係部長(課)	総務部長(総務課)

## 1 施策目標

<b>江東区の目指す姿</b>										
<p>こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、身近にスポーツを楽しめる機会と環境が確保され、スポーツの持つ力により、誰もが生き生きと暮らせる地域社会が形成されています。</p>										
<b>施策実現に関する指標(代表指標)</b>										
<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>現状値 (元年度)</b>	<b>2年度</b>	<b>3年度</b>	<b>4年度</b>	<b>5年度</b>	<b>6年度</b>	<b>目標値 (6年度)</b>	<b>指標担当課</b>
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合		%	45.1	59.0	58.8	61.5			65	スポーツ振興課
<b>指標選定理由</b>		区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを客観的に示す指標であるため								
<b>分析</b>	<b>達成度</b>	<p>◆4年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況の改善に伴い、スポーツ施設の利用制限が緩和されるなど、スポーツを気軽に楽しめる環境が回復してきたことにより、スポーツ実施率が向上したと思われる。</p> <p>◆区民アンケート調査結果によると、女性の実施率が大きく改善しており、年齢別にみても大きな差異は見られない。</p>								
	<b>4 (順調)</b>									
<b>施策コストの状況</b>										
<b>種別</b>		<b>4年度予算</b>	<b>4年度決算</b>	<b>5年度予算</b>	<b>6年度予算</b>					
トータルコスト		3,218,247千円	2,977,854千円	2,795,111千円	3,640,406千円					
事業費		3,107,013千円	2,880,967千円	2,674,617千円	3,515,575千円					
人件費		111,234千円	96,887千円	120,494千円	124,831千円					
<b>《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)</b>										
<p>◆令和4年3月、国は第3期「スポーツ基本計画」を策定し、今後、成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%(障害者は40%)になることを目指すこととしている。</p> <p>◆令和4年1月、都は「TOKYOスポーツレガシービジョン」を策定し、東京2020大会で得た成果を今後のスポーツ振興に活かすため、都立スポーツ施設の戦略的活用やパラスポーツの振興などを掲げている。</p> <p>◆世界陸上競技選手権大会・デフリンピックが2025年に東京で開催されることに伴い、都は令和5年2月に、東京都が目指す姿を「ビジョン2025 スポーツが広げる新しいフィールド」にまとめ、「全ての人が輝くインクルーシブな街・東京」の実現を目指している。</p>										

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

<b>取組方針1</b>	<b>区民のスポーツ活動の促進</b>
<b>主な取組</b>	気軽にスポーツに取り組める機会の創出
<b>取組内容</b>	<p>◆コロナ禍で受けた様々な影響を払拭し、ファミリースポーツチャレンジやシーサイドマラソン大会等をコロナ前と同等以上の規模で開催することで、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツを通じた交流の促進に取り組む。</p>
<b>主な実施事業</b>	区民スポーツ普及振興事業、江東シーサイドマラソン事業、スポーツ推進委員活動事業
<b>取組方針2</b>	<b>スポーツのしやすい環境の整備</b>
<b>主な取組</b>	安心して利用しやすい施設整備・改修
<b>取組内容</b>	<p>◆老朽化が著しいスポーツ施設の改修を最優先に進めるとともに、設備の充実や利便性の向上を図ることで、誰もがスポーツに取り組みやすく、楽しむことができる環境の提供に取り組む。</p>
<b>主な実施事業</b>	スポーツ施設管理運営事業、少年運動広場維持管理事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	区民のスポーツ活動の促進	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)							
		関係部長(課)	総務部長(総務課)							
<p>スポーツには、健康維持や体力増進だけでなく、心の健康や人間的な成長を促すことで相手を尊重し思いやる精神が育まれるなど、大きな効果が期待できることから、こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、区民が主体的にスポーツに取り組み、継続して活動できるよう、スポーツイベントの開催や教室事業を実施するなど、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツ団体の育成、相互交流等の支援を充実させます。また、ソフト面におけるオリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、区民のスポーツに対する意識向上を図るとともに、関係団体が蓄積した知識・技能・経験を活かし、区民のスポーツ活動の促進に取り組みます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
体育協会加盟団体・社会教育関係団体の登録団体数		団体	668 (30年度)	625	581	631			681	スポーツ振興課
指標選定理由		スポーツ活動の促進に対する区の取り組み状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ施設や学校体育館が貸出中止となるなど、社会教育関係団体にとっての活動の場が著しく制限されたことから団体登録数が減少したが、利用制限の緩和等により団体の活動が再開し、登録数が回復したと思われる。								
	*									
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		136,127千円	112,883千円	118,334千円	156,278千円					
事業費		66,733千円	52,431千円	67,342千円	89,612千円					
人件費		69,394千円	60,452千円	50,992千円	66,666千円					
成果と課題										
<p>◆4年度は、こどもカヌー大会やファミリースポーツチャレンジ、シーサイドマラソン大会等、主なスポーツイベントを3年ぶりに開催することができ、いずれも多く参加者を集めた。</p> <p>◆パラスポーツの体験型イベントの開催等により、パラスポーツに対する理解の醸成と普及振興に取り組む。</p>										

取組方針2	スポーツのしやすい環境の整備	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)							
		関係部長(課)								
<p>スポーツをすること、観ることを通じて、人と人との絆が深まり、地域コミュニティの活性化など地域活力の向上につながる効果が期待できることから、区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上を図り、誰もがスポーツに取り組み楽しむことができる環境を整備します。また、都立や民間のスポーツ施設との役割分担を整理するとともに連携を図ります。さらに、オリンピック・パラリンピックの競技施設を活用し、スポーツのしやすい環境の整備に取り組みます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
区立スポーツ施設の利用者数		人	2,424,000 (30年度)	960,000	1,086,000	1,496,000			2,550,000	スポーツ振興課
指標選定理由		区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上など、スポーツのしやすい環境の整備に向けた区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆新型コロナウイルス感染症の感染状況の改善に伴い、施設利用制限の緩和や教室の再開が行われたため、施設利用者や教室参加者ともに回復してきている。								
	*	◆引き続き区立スポーツ施設の改修や設備の充実、利用者アンケートに基づく利便性やサービス向上などの取り組みにより、指標の向上を目指していく。								
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		3,082,120千円	2,864,971千円	2,676,777千円	3,484,128千円					
事業費		3,040,280千円	2,828,536千円	2,607,275千円	3,425,963千円					
人件費		41,840千円	36,435千円	69,502千円	58,165千円					
成果と課題										
<p>◆引き続き区立スポーツ施設の計画的な改修等により、誰もがスポーツのしやすい環境を整備していく。</p> <p>◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場や4年度にオープンした夢の島スケートボードパークなどのレガシー施設を効果的に活用し、スポーツ環境のさらなる充実を図る。</p>										

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<p>◆東京2020大会の開催で高まったスポーツへの関心をオリパラレガシーとして継承し、今後のスポーツ実施率の向上につなげていくことが課題である。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだスポーツマインドの回復に資するよう、スポーツ実施機会の確保・拡大に力を入れていく必要がある。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>◆年齢や性別、障害の有無にかかわらず、また、ライフステージや関心の度合い等に応じて、気軽にスポーツに取り組める機会を充実していく。 ◆「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえる」スポーツの環境の充実を図るため、トップスポーツチーム連携やスポーツボランティア養成などを推進させていく。</p>

#### 5 外部評価委員会による評価

<p>(令和4年度外部評価実施済施策)</p>
-------------------------

#### 6 二次評価《区の最終評価》 ※4年度外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<p>◆代表指標については順調に推移しているが、取組方針の指標については主にコロナ禍における施設利用の制限等により、計画策定時の現状値から低下している。 ◆行政サービスの再開に伴い、施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<p>◆スポーツイベント等の実施について工夫を凝らしながらスポーツに親しめる機会を提供する。また、アンケートの工夫などにより、ニーズや参加を妨げている事由の把握につとめるとともに、<b>年齢や性別</b>などにより異なるニーズを分析し、<b>区民全体のスポーツ実施率の向上に努める。</b></p> <p>◆パラリンピックレガシーの活用等により、障害者スポーツの理解を広め、障害者がスポーツに取り組みやすい環境整備を引き続き進める。</p> <p>◆民間施設との連携や東京2020大会競技施設を活用した取り組みについてより広く区民に伝わるよう努め、「水彩都市・江東」として豊かな水辺環境を生かしたスポーツを推進する。</p>